

## 事業者等向け

## 放課後等デイサービス評価表

児童デイサービスすきっぷ美瑛2nd 提出5名

2021年2月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・活動内容によりスペースを使い分ける。	定員10名に対し十分なスペースが確保されている。整理整頓をし安心して過ごせるスペースを維持していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%			・基準に沿っている。	配置基準を満たしている。また配置基準に加えて1名多く配置している。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			100%	・段差などに気を付けるように声掛けしている。	部屋と部屋の境目に段差があるが、スタッフが声をかけて気付ける子達なので、一言声かけをして注意している。また安易なバリアフリー化は、できる・やれる子供のスキルを低下させてしまう恐れもあるので、引き続き施設内において綿密な協議を行っていく。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			・ミーティング時に情報共有しているが、足りない時もある。	毎月行う施設内研修、朝、昼のミーティングの時間に情報交換を行っていくと共に、何かある時はすぐに施設長へ伝える事を徹底していく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・評価表の結果を踏まえ業務改善に繋がっているが足りない部分もある。	以前配布したアンケート結果を考慮し、今以上にスタッフ間で協議の上改善に努めていく。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			ホームページ及び事業所玄関前にて公表し、保護者様にも結果を送付している。	今後もホームページ及び事業所玄関前にて公表している。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	・していない	重要事項説明書にも記載しているが、第三者による外部評価は行っていない。法人の方針に従い対応していく。ただし保護者に対してはアンケート調査を実施して意見をもらい、業務改善へ繋げている。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・社内研修を行っている。	今後も毎月職員研修を行い人材育成に努め取り組んでいく。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・面談や日々の様子から課題を検証している。	面談等で保護者のニーズや子供の課題を考慮して作成している。またモニタリング会議にてスタッフ全体で子どもに対して、どのような支援が必要か模索し、提案していく。
⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・統一されたものを使用。	法人として統一された物を使用している。
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・細かな内容や、外出支援等は全員で考えるようにしている。	活動を定める際にはミーティングを開き職員間で協議していく。
⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・活動内容によっては固定されている物もある。	・極力曜日固定を行わない事で、利用児が様々な活動に参加出来るよう配慮しているが、状況などにより一部活動は固定している場合もある。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・長期休暇の際はもう少し細かな時間設定が必要。	長期休暇には外出以外に自由研究の題材になるような制作活動等も取り入れているが、メリハリをつける為にも細かな時間設定を意識して今後はスケジュールを組んでいく。

適

切な支援の提供	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・状況により配慮している。	子どもの状況などに合わせ、集団活動の中で個別活動を適宜配慮している。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・ミーティングにて確認している。	朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について確認をしている。今後も継続して行っていく。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・翌朝に必ず確認する事となっているが、報告漏れや情報不足の事がある。	保護者からの話や、業務に必要な事は必ず朝会で発表すると共に、聞いてきた当日に施設長に報告する動きを徹底していく。
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・記録は取っているが、内容が不足している事もある。	業務日誌、ケース記録を作成し、記録を残している。またいつでも目を通せる様に保管し視線の検証・改善・計画作成に繋げている。今後さらに精度を上げて作成していく。
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・最低半年に1回は行っている。	今後も必要に応じてモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断していく。
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			・行っている。	組み合わせで行っている。今後もガイドラインに沿った活動の組み合わせを行っていく。
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・施設長及び児発管が参加している。	子どもの状況を把握して上で、児童発達管理責任者または施設長が参画している。	

関係機関や保護者との連携	⑲学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・同意がある場合は行っている。	送迎の変更、トラブルなどがあれば迅速に電話連絡にて対応を行っている。学校によっては直接対応が出来ないので保護者と情報を共有して対応していく。また送迎時や会議を通して共通理解に努めている。
	⑳医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			・受け入れ体勢がない	医療的ケアが必要な子どもは、現在受け入れていない為該当しない。
	㉑就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			・担当者会議等にて行っている。	保護者の意向に沿って必要に応じて対応していく。
	㉒学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			・その様なケースが無い	該当する子どもがまだいないが、保護者の意向に沿って対応していく。
	㉓児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			・町で運営している児童発達支援センターの研修には参加していたが、今年はコロナ禍で不参加	極力参加したいと思うが、開催時間によっては参加が難しい。研修を受けた際はスタッフへ周知徹底し職員のスキルアップへ努めて行く。
	㉔放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			・望まれない保護者もいる。練習試合等で交流はしている。	スキー級別テスト、Tボールの練習試合、公園外出等に関わる機会がある。しかし児童館等との交流は嫌がる利用児もいる為、基本的にはすきっぷでは考えていない。
	㉕(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			・美瑛地区として法人より参加はしている。 ・施設長が参加している。	必要性を感じた場合や関係機関より要請があった場合、参加を検討していく。

	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・共通理解の部分でスタッフ全体で再度意識し、保護者目線に立って関わる事が重要	保護者へは送迎時や連絡ノート、必要性があれば電話連絡を行い、その日の子どもの様子を伝えているが、事業所側の一方的な話にならない様に十分注意し、共通理解に努めていく。
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			・行う予定が無い。(集団での)	安易な対応やアドバイスはトラブルに繋がる為、児発管や施設長が必要に応じて個別に行っている。今後、専門的機関を含めてペアレントトレーニングも視野に入れていく。
保護者への説明責任等	㉒ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・契約時に行っている。	ご契約時において、施設パンフレット等に基づきご利用にあたっての説明をさせていただいている。今後も必要に応じて面談時や通信・書面などでもわかりやすく発信していく。
	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・個別に相談があった時には出来る限りのやり取りはしている。	保護者様からご相談を受けた際は、安易に簡単な言葉を返さないようにしている。スタッフ間で協議して対応し、必要に応じて助言や気持ちの受け入れ先になれるように寄り添っていく。
	㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・今年度は紅白戦や練習試合などを中心にしている。茶話会は行っていない。(参加率や参加者の兼ね合いで)	今後も野球紅白戦や練習試合などで保護者同士の関りが生まれるように配慮していくと共に、コロナ禍の状況を見て保護者同士が集まれる会も検討していく。
	㉕ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・話の捉え方を簡単に考えてしまう部分も見られる。	苦情が発生した場合は、『苦情解決処理体制及び手順』に基づいて迅速に対応していく。スタッフに何かしら話があった場合は軽く捉えずに事業所で検討し答えを出していく。
	㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・通信及び号外を発行している。	毎月通信及び号外等を必要に応じて発行し、すきっぷでの様子をお伝えしている。

	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	100%			・細心の注意をすると共に、同意書にて保護者に同意を貰っている。	ご契約時にご説明をさせていただいている「個人情報利用の目的」に従がい、お取り扱いには細心の注意をしている。不要のデータや使用済みの書類などは施設内でシュレッダーにかけ等の処理を行うとともに、職員規定により職員が施設外にデータを持ち出すことなども禁じている。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・状況に応じて視覚提示をしている。	子どもに対しては必要に応じて、目で分かるように絵カードを使用したりジェスチャーを使い意思疎通の配慮をしている。保護者には送迎の際に施設内での活動の様子や子ども様子を伝えている。また必要に応じて連絡ノートや電話連絡などで詳細をお伝えしている。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	・作品展は会場にて一般展示しているが、事業所へ招待する事はしていない。	事業所の行事に地域住民を招待する事は昨今の凶悪犯罪の観点からや、個人情報、プライバシーの保護などの点より難しい。セキュリティの問題から地域住民を招待する活動は考えていない。運動会や、保護者を招待する行事、作品展、地域貢献活動は今後も継続していく。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			・スタッフには研修にて周知している。保護者へは配布している。	毎年4月の通信発送時に緊急時対応マニュアルを再配布する。今後変更等が出た場合など敏速に情報公開していく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・年3回(地震、火災、噴火)の避難訓練を行っている。	年3回(地震、火災、噴火)の避難訓練を行っている。今年は防犯訓練も行っていく。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・3か月に1度研修及び委員会にて確認している。	法人として2・5・8・11月に虐待防止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。また、同月に虐待防止研修を行なっている。今後も継続し虐待防止に努めていく。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			・その様なケースが無いが、スタッフには身体拘束について研修し落とし込みをしている。また計画にも記載している。	契約時や必要に応じて面談時等に説明している。また、個別支援計画特記事項にも記載している。法人として2・5・8・11月に身体拘束廃止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。

<p>④② 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>	<p>100%</p>			<p>・指示書はないが、フェイスシートにて聞き取りしている。</p>	<p>医師の指示書は確認していないが、契約時のフェイスシートにてアレルギーの有無を確認し対応している。活動内容に応じて再度聞き取り等もしている。</p>
<p>④③ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>	<p>100%</p>			<p>・作成はしているが、自ら出そうとする動きは少ない。</p>	<p>ヒヤリハットを作成した場合はミーティング時に読み上げ、スタッフ間で情報共有している。また今後はスタッフが出しやすい環境を整備していく。</p>